



おかむら通信第 95 号

平成 25 年 3 月

皆様、3月に入り暖かさがちらり、と見えてきたようです。しかし鴨川は寒かった。RYLA 青少年セミナーで 20 から 30 才までの若者たちとの 2 日間の歩行ラリーに私はバテました。しかしそこでお会いした若者たちの、真面目さ・持っている才能・応用力・忍耐強さ・仕事の手際の良さに驚かされ、みんなに会えてよかった、と思いました。いやいや彼らの力はたいしたものです。最近幻滅しかかっていたこの日本に、少しの希望が見えたのは大きかったです。

① 当院のシステムについて

当院の医療に対する姿勢についてよろしければご理解をください。開業以来、総合的な医療をより高いレベルで実行するために日頃、積極的、前向きな治療を心がけてきました。また自覚症状には出ない慢性疾患の病気の進展を止めるような対処もしてきました。初めてかかれる方には、早い治療の展開に戸惑われる場合もあったようです。我々が扱う疾病の範囲はかなり多く脳・肺・心臓・内臓(胃、腸、肝、腎、膵、胆、脾)、骨盤臓器(子宮、卵巣、前立腺、膀胱)、骨、血管、疼痛管理、栄養水分管理、乳腺、甲状腺、認知症、精神疾患、外傷、インフルエンザ、等々です。

②意見箱に 御意見を、なんでも、お話したいことを皆様、もっと いただけたら幸いです。

③ 診療時間外の連絡について

今月もあらためて、院長への連絡先を公表しています。何かの時、相談に乗ります。お気軽にご利用ください。

④ 検査の必要性について

確かに当院は検査が多い医療機関です。病院に行かなくても出来るだけのレベルでみなさんに医療を提供したいと考えているからです。また当院には、重症の方が多く、他院から転医された方もいらっしゃいますしたがって、より確実な診断治療の為にいろいろな角度から、いわゆる総合的な面からチェックしてゆきます。

⑤ 医療の ICT 化とは何か なぜ必要か?

今だに医療の IT 化を否定する方がおられるのは残念です。というか誠に情けない限りです。フィンランドの、デンマークの、そして韓国の医療システムを真摯に学ばれるとよろしいです。停滞しているこの国の医療をこのままにしていって良いのでしょうか?





⑥ 未だ水分 過剰な方が、

どうしてでしょう、またまた、過剰な水分の摂取を当たり前とされる方々がおられます。どうかご自分でよ——くお考え下さい。いい医療は一方的ではむずかしく、患者さんと医療関係者が力を合わせてなし得るものだと思います。

⑦ 時刻表について

お尋ねがありました、お調べして 掲示いたしました。

常盤平駅行 バス停・公団入口より

八柱駅行 バス停・牧の原小学校より

について。ご利用下さい。

⑧ EMI ネットの終了について もう一度

もう 11 年になりましたが、ついに、今月の 3 月で終了する見込みです。そのあとは、千葉県の IT ネットに入っていただくようになります。EMI ネットには約 4000 人の登録がありましたので、この約 1 年間でキードクター、登録患者さんと共に情報を慎重に移す作業があります。県の登録医療機関募集は 4 月以降になる模様です。当院はもちろん IT ネットに入る準備をしています。

2 月の活動紹介

- 1/07 (木) 松戸市健康福祉課と会談 今後の医療連携について 当院
- 1/12 (火) 異業種の方と懇親会 市内
- 1/19 (火) 松戸市医師会定例理事会 衛生会館
- 1/21 (木) 松戸市小児急病センター 夜間勤務 松戸市立病院
- 1/24 (日) 晴香園 児童養護福祉施設にて 子供達と会談 少人数グループにて 晴香園
- 1/26 (火) 松戸市健康福祉課と会談 EMI ネット終了の準備について 当院
- 1/28 (水) NTTDMCS と医療情報ネットワークの IT 化について 当院

寒い冬も系冬り、だんだん春らしい陽気になって来ました。徐々に花粉も飛び始め ティッシュとお友達になりつつあります。皆様 体調周りに気をつけて下さい。



3 月担当 森